京都芸術センター通信

KYOTO ART CENTER 京都芸術センター

APRIL 2020 04
VOL.239
発行：京都芸術センター　2020年3月20日

坂東祐大
photo by Nozomi Teranishi

中川裕貴
photo by Takuya Oshima

ゴーダ企画
photo by Toshie Kuramoto

前谷開

前田耕平
photo by Tatsuki Katayama

柳生二千翔
撮影：横田敦史

岡本昌也

坂東祐大（作曲家）

京都芸術センターは自分にとって京都でのホームのような存在です。多様な国籍、様々なジャンルのアーティストが京都という伝統と刺激に満ち溢れた土地で"クリエーション" が出来ることは、何ものにも変え難い価値だと感じます。センターの益々の発展を心より願っています！

三野新（写真家・舞台作家・ニカサン主宰）

創立20周年おめでとうございます！晴れたお休みの日に、センター中央の庭で近隣にお住まいの方たちがテニスをしている様子を見つつ、私たちは芸術を考える瞬間がある。その時間のことを、ずっと覚えていたいと思いました。

前谷開（アーティスト・元京都芸術センターアルバイト）

2017年に参加したフェルトシュテルケ・インターナショナルは死ぬほど楽しかった。夜間のアルバイトでは北館3階の廊下を目をつむって端から端まで歩くのと、南館4階のエレベーター前から下を見てタマヒュンするのが日課でした。

中川裕貴（音楽家）

変わってしまうもの／ことをポジティブに遅延させること。このことが表現の大事な部分だと思っています。スピードを増す「変化」が内在するこの場所で、京都芸術センターが在ることが何らかのメッセージになることを願い、自分も伴に（ともに）。

和田ながら（演出家・したため主宰）

京都芸術センターに初めて来たという人に対して、職員でもないのに自慢げにセンターのアレコレを紹介しはじめるようになってしまったここ数年。やっぱり大広間が一番ホットな反応をもらえます！

武田力（演出家・民俗芸能アーカイバー）

Co-programのリサーチとして大丸百貨店の民俗芸能を制作した際、そのアフタートークの相手に大丸の社員さんを呼んでいただけたことは印象深いです。それでもなぜか「失敗しても大丈夫」と思えていたので、あのときより下手なトークは最近ないです、笑。20周年おめでとうございます。

祝！20周年

京都芸術センターは4月に開設20周年を迎えます。元明倫小学校の姿をほぼそのまま残し、2000年にアートセンターとしてオープンして以来、多様なジャンルのアーティストが制作・発表してきました。20周年に寄せて、京都芸術センターにゆかりのあるアーティストやセンターで働くスタッフによるコメントをご紹介します。

南野詩恵（劇作家・演出家・衣装作家・お寿司主宰）

様々な制作室で、様々なアーティストの姿を見て、様々な作品が生まれて、娘が生まれて、お寿司は生まれました。お誕生日、ありがとうございます。

柳生二千翔（劇作家・演出家・女の子には内緒主宰）

芸センでの私のクリエーション現場は、職員さんが働く事務室でした！約1年間、各季節ごとに滞在して、職員さんと並んだ状態で戯曲を執筆。「本当にここで作品つくれるの？そんな人、今までいないよ？」と心配され続けたことも良い思い出です…。20周年おめでとうございます！

ゴーダ企画（コレクティブカンパニー／コンテンポラリーダンス）

長い時間をかけて京都のアーティストたちを辛抱強く支えてこられたことに敬服し感謝しています。これからの20年、いや100年かけて芸術を育んでいく芸術センターであり続けてください！

神里雄大（劇作家・演出家・岡崎藝術座主宰）

芸術センターではこれまで5作品を上演していて、そのうち、直近の3作は創作から初演までさせてもらいました。いろんな無茶を聞いてもらい、オーディションもしたし、なぜかうどんを打って皆さんに振舞ったこともありました。いまも事務所に顔を出すと、「おかえり」と言ってもらえるので、照れくさいけどうれしいです。ぼくはいまのところ東京に住んでますが、拠点は芸術センターだと思ってます。また新しいことしたいです。20周年おめでとうございます。

岡本昌也（劇作家・演出家・安住の地）

とんでもないことですが「安住の地」は結成以来、全ての作品を芸術センターで制作しています。無数のカンパニー・作品もここで生まれていて……まさしく京都舞台芸術の中枢！「母なる芸セン」と言っていいです。

野村眞人（演出家・劇団速度主宰）

京都芸術センターで上演された作品のうち、最も印象深いものは、村川拓也さん演出の『エヴェレットゴーストラインズ』です。会社帰りのスーツ姿の男の人が歩いて現れ、そのまま歩いて帰っていきました。その時そこは道でした。

前田耕平（アーティスト）

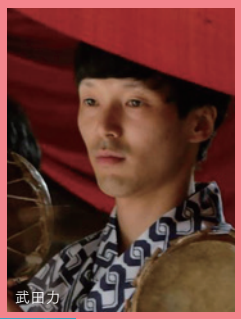
2020年2月1日、芸センの校庭にたくさん人を集めました。京都芸術センターは学校だったこと、様々な人の力で動いていることに気づかされました。たえず動き、ただ存在し続けることの大切さ、We Age！

中川日出鷹（ファゴット奏者）

アーティストが恍惚と不安の間で葛藤するように、京都芸術センターでの制作期間もドラマチックだったと振り返ります。センターの方々には、発想の段階からお世話になりました。現場で浮んだアイデアにも公演の直前まで対応していただけてとても贅沢な時間でした。センターならではの制作・発表になったと思います。貴重な機会をいただきありがとうございました。

神里雄大

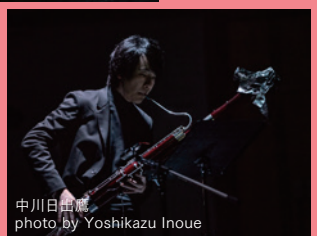
野村眞人


武田力

三野新
photo by Mayumi Hosokura

南野詩恵
撮影：松本成弘

和田ながら
撮影：守屋友樹


中川日出鷹
photo by Yoshikazu Inoue

EVENT CALENDAR 2020.04

各種イベント申込方法（別途記載のあるもの、共催事業、制作支援事業は除く）
催し名・住所・氏名・電話番号を添えて、ウェブサイト申込フォーム、TEL、FAXで事前にお申込ください。チケット窓口でも受け付けます。
※友印の公演は、京都芸術センター友の会のご招待券・ご優待割引対象公演です（制作支援事業は京都芸術センターチケット窓口取扱公演のみご優待。共催事業はご優待対象外）
その他、友の会特典詳細についてはウェブサイトをご覧ください。
※各種年齢別・学生料金は要証明書呈示
※窓印の公演は、窓口にてチケット取扱

略称
日……日時　場……会場　席……席主　出……出演、出展
演……演目、曲目　料……料金　定……定員　主……主催
共……共催　問……問合せ　対……対象　持……持物

アイコン
美術　伝統　茶会　音楽　ダンス　演劇
トークイベント　ライブラリー　明倫ワークショップ（無料・初心者大歓迎！）
KACセレクション（共催事業）

※3/13時点での情報を掲載しています。開催状況はウェブサイトにてご確認ください。

3/1 sun. … 4/5 sun.

京都芸術センター20周年記念事業 てんとうむしプロジェクト06『つながりの方程式』
前田耕平とタオ・フイ（陶輝）による展覧会。
日3月1日（日）－4月5日（日）10:00－20:00 ※会期中無休 場ギャラリー北・南 出前田耕平、タオ・フイ（陶輝） 料無料

4/17 fri. … 5/6 wed.

京都国際ダンスワークショップフェスティバル2020
国際的に活躍する振付家、ダンサーを講師として招聘。ビギナーからプロのダンサーまで様々なレベルのクラスを設けたワークショップを開催します。
※新型コロナウイルス感染症への対策として、開催の可否を協議するため申込受付を一時中断しています。開催に関する情報は3月下旬に京都芸術センターウェブサイトにてお知らせします。
日4月17日（金）－5月6日（水） 場講堂、フリースペース　ほか 主京都芸術センター、一般社団法人ダンスアンドエンヴァイロメント 共アンスティテュ・フランセ関西、ヴィラ九条山、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 問京都芸術センター

4/29 wed.

畠中光享「金箔を使った舞扇の制作」
箔の扱い方と押し方を実習して、日本画絵具で舞扇型の紙に描きます。その後の仕立ては自由です。
日4月29日（水）13:00－16:00 場制作室4 料純金箔は各自へ1枚提供、それ以上は実費1枚（約200円） 定10名 対18歳以上

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちは今や日常生活をも制限せざるを得ない状況となっています。京都市をはじめとした関係各所、アーティストのみなさんと協議をする日々が続いています。京都芸術センターでも、展覧会は引き続き実施していますが、2月27日以降の集客型の催しについては延期できるものは延期としました。やむを得ず中止とせざるを得ない催しもあったことは、主催者としてとても残念に思います。

そんな中でも、アーティストのしなやかな試みもみられました。Co-program カテゴリーDで公演予定だった劇団速度は、公演を2020年12月に延期することにしましたが、「沈黙劇」という作品のコンセプトを引き継ぎつつ発展させた映像作品を制作し、公演日に合わせてオンライン上で発表することを試みました。演劇という“集客”“接触”型から、映像という“非接触”型への方法論の転換は、彼らにとって演劇ができなかったための代替というだけではなく、新たな演劇的方法への挑戦にもなったのではないかと思います。KAC Performing Arts Program / Musicで取り上げる予定だった北爪裕道さんや坂東祐大さんをはじめ、多くのアーティストとの協働がクリエーション途中で延期が余儀なくされましたが、新型コロナウイルスに与えられたとも言えるこの期間をどのように活かしていけるのか、アーティストや私たちに課せられた課題なのかもしれません。

劇団速度『景観と風景、その光景（ランドスケープとしての字幕）』（YouTube Theatre SOKUDOチャンネルより）

京都芸術センターでは、京都市と協働し、休校となったこどもたち向けの映像プログラムを開始しました。日常生活のありように揺さぶりがかけられている今、芸術にできること（あるいはできないこと）を改めて考えています。

勝冶真美（プログラムディレクター）

公演中止に伴うチケット払い戻しについて
開催を予定しておりました次の公演の中止にともない、該当公演のチケットをご購入いただいた方に、チケット購入代金の払い戻しをいたします。お手持ちのチケットをご確認のうえ、期間中にお手続きいただきますようお願い申し上げます。詳しくは京都芸術センターウェブサイトをご確認ください。

払い戻し受付：2020年4月30日（木）まで
- **劇団速度『舞台の実存とスクリーン、間にいるあなたの眼』**（3月5日－8日）
- **第257回市民狂言会**（3月6日）
  ※年間席札・前売券共に、購入されたプレイガイド／販売店でのみ払い戻しを行います。プレイガイドごとに払い戻し受付期間が異なりますので、詳細は京都芸術センターウェブサイトをご確認ください。
- **継ぐこと・伝えること63『金剛流を魅せる』**（3月15日）
- **継ぐこと・伝えること64『井上流を魅せる』**（3月20日）
- **KAC Performing Arts Program / Music 坂東祐大『感情の作られ方』**（3月28日・29日）
- **ペトロフピアノ・リサイタル（西村由紀江）**（4月10日）
  ※購入されたプレイガイド／販売店でのみ払い戻しを行います。

新型コロナウイルス感染症への対策に伴うイベントの延期について
新型コロナウイルス感染症への対策として、2月下旬－4月にかけての催しを、延期または中止しております。延期となった催しについて、担当者やアーティストのコメントと共にご紹介します。

●KAC Performing Arts Program / Music 北爪裕道『粒子の踊り』～4つの音次元によるスペクタクル [2月29日・3月1日→2021年春頃に延期]
2月下旬に関係者のみで試演会を行いました。いろんな課題や新たに挑戦したいことも見えたので、これから2021年に向けブラッシュアップしていきます。精密なプログラミングで自動演奏ピアノを操り、オーケストラ用の協奏曲から電子音響作品まで幅広い音楽を生み出す北爪さんは、これからが楽しみな担当者激推しの作曲家です。今後の活躍にぜひご注目を！！！（奥村）

●明倫ワークショップ [2月下旬・3月→調整中]
12部屋ある京都芸術センターの制作室は、1年中毎日、様々なアーティストが制作をする場です。明倫ワークショップは、無料で誰でも参加できるようアーティストらが開催し、その活動を垣間見られる機会ともなっています。毎月いくつも誰かしらが行っているワークショップが、3月中ぱたりとないのは寂しいですが、アーティストは変わらず制作をしているし、落ち着いた頃にはまたワークショップも開催できると思うと元気になります。（遠山）

●Co-program D 劇団速度『舞台の実存とスクリーン、間にいるあなたの眼』 [3月5日－8日→2020年12月に延期]
限られた条件の中で、何ができるか。これが、延期が決まった時点で考えたことでした。本来、「舞台の」という限定的な範囲で「ひと」と「ことば」の関係についての作品であったものを、外に拡張し、意図的にデザインされる前の「ひと」と「ことば」の関係を観測し記録する映像を撮影することにしました。一方で、外には人がいて（本当にどこにでもいました）、劇場に人を集めることは叶わない今まさに直面している状況もありました。こうした二つの意味での現在地を記録し、舞台に還元していけたらと思っています。（野村眞人・劇団速度主宰）

●藝文京芸術体験教室「建築」 [3月15日→調整中]
元明倫小学校の教室を会場に、魚谷繁礼氏・衛藤照夫氏「ふたりの建築家が語る建築と京都のまち」と題し、建築の楽しみ方をご紹介する機会を準備していました。定員間近のお申込で心待ちにしていただいたところ…とても残念です。（竹内）

●KAC Performing Arts Program / Music 坂東祐大『感情の作られ方』 [3月28日・29日→2021年以降に延期]
楽譜の大部分が完成した矢先の延期決定でした。2018年に上演したEnsemble FOVE presents “TRANS”以来目覚ましい活躍をされている坂東さんですが、今回は「感情」という新たなテーマに取り組むため、奏者の皆さんと共に様々な実験を重ねてきました。さて、本公演では扱いませんが、坂東さんが編曲され、FOVEの皆さんが演奏した「ZINGARO!!!」というCDは大変おすすめです。公演を待つ間、ぜひ聴いてみてください！（奥村）

●WE AGE展覧会＆パフォーマンス [4月11日－5月7日→2020年9月に延期]
65歳以上の方を対象に、ロック・映像・ファッション・パフォーマンスの分野で作品を公募しました。予想を超える面白い作品が集まり、共に応募書類を読んだ若手アーティストたちも私たちも大変刺激を受けました。延期の旨を皆さんに連絡すると、「9月まで時間があるので、こんなことをしたいのですが…」と新たなプランを提案して来られる方が多く、驚いています。（奥村）

おうちでアート
ひとりの退屈な時間が続くと、急に何かをしたくなったり、今まで思ってもみなかったことを考えたりするのではないでしょうか。それは創造性を高める絶好の機会かもしれません。
京都芸術センターでは、「なんかおもしろいことないかなぁ…」と思っている子どもたち、大人たちに向けて、新しい取り組みをはじめました。

「アーティストに聞いてみたムービー」
アーティストってどんな人？普段どんなことをしているの？何故アーティストになったの？という素朴な疑問に答えてくれる動画を公開しています。普段、京都芸術センターを活動の拠点にしているアーティストのみなさんを紹介する動画でもあります。WEB：www.kac.or.jp/28151/

「こどもゲイジュツそうだんしつ」
芸術に関するよろず相談室をTwitter上に開設しています。アーティストに聞いてみたいこと、創作に関するヒントや悩み、（できるかぎり）なんでもおこたえします。Twitter ID @ouchideart

また京都芸術センターのウェブページには、オンラインで美術鑑賞ができたり、パフォーマンスの動画を配信しているサイトのリンク集を作成しています。こちらもぜひご活用ください。
※本事業は京都芸術センターに関係するアーティストのみなさんと京都市と協働で実施しています。

図書室休室日：4月30日（木）

制作支援事業（制作室使用者による公演・展覧会）
※3/13時点での情報を掲載しています。開催状況は事前に主催者へお問合せください。

てんこもり堂 第12回公演「ロミオとジュリエット」
悲愛劇をちょっとヒネって戯愛劇に！ 4人で演じるシェイクスピア。
日4月11日（土）19:00、12日（日）11:00／15:00 場人間座スタジオ（左京区） 料一般前売2,000円／当日2,300円、U25 1,500円（前売・当日共） 問てんこもり堂（きん） TEL：090-9701-9962 E-mail：tenkomoridou@yahoo.co.jp WEB：http://tenkomoridou.at.webry.info/

広田ゆうみ＋二口大学「眠っちゃいけない子守歌」
3月に亡くなった、日本における不条理劇の第一人者・別役実による二人芝居です。
日4月17日（金）19:30、18日（土）15:00／19:00 場人間座スタジオ（左京区） 料一般2,500円、U22 1,000円（前売・当日共） 問広田ゆうみ＋二口大学 TEL：090-3039-9894（二口） E-mail：hirotafutakuchi@gmail.com WEB：http://hirotafutakuchi.blog.jp

大長編 男肉 du Soleil
『オフホワイトメガタワー ～ボクらの七日間ホスピタル戦争～』
真っ向から医学と向き合う男肉×大学病院×HIPHOP×ダンス。
日4月24日（金）18:00、25日（土）13:00／18:00 場京都市東山青少年活動センター 創造活動室（東山区） 料一般前売3,300円／当日3,800円、学生前売500円／当日800円 問男肉 du Soleil TEL：090-4477-4251（大瀬） E-mail：oniku-du-soleil@sd.boy.jp WEB：oniku-du-soleil.boy.jp/

TICKET［チケット］

第258回 市民狂言会
日6月5日（金）開場18:30 開演19:00 場京都観世会館（左京区） 演水掛聟、夷毘沙門、小舞（小原木、栗焼、鮒）、六地蔵 出茂山七五三、千三郎、千五郎 ほか 料前売2,600円／当日3,200円、高校生以下1,000円 ●チケット取扱：京都芸術センター、大丸京都店、チケットぴあ（Pコード：500-974） ほか ※年間席札8,400円（限定130枚）、団体券2,400円（20名以上）は京都芸術センターにて取扱 ※4月1日（水）より販売 主京都市

OPEN CALL［募集］

アーティスト・イン・レジデンスプログラム イン パリ 2020/2021 参加者募集
おおさか創造千島財団、ヴィラ九条山との合同主催で、パリ（フランス）での滞在制作に取り組みたいアーティスト、研究者、キュレーターを募集します。
●滞在先：シテ・アンテルナショナル・デ・ザール内「ヴィラ九条山スタジオ」（パリ、フランス） ●滞在期間：①2020年10月9日（水）－2021年1月4日（月）②2021年1月9日（土）－4月4日（日） ●支援内容：現地スタジオの提供、関西国際空港－シャルル・ド・ゴール空港間の往復航空券、滞在補助費（10万円／月として計30万円）、制作費（20万円）※すべて内税、スタッフによるサポート 対関西圏内に在住もしくは主な活動拠点を持つ、創造活動を行う個人 ●審査：一次選考／書類審査、二次選考／面接審査（2020年4月14日） ●応募締切：2020年3月29日（日）23:59まで 問ヴィラ九条山 WEB：www.villakujoyama.jp/ja/ E-mail：vk.candidature@institutfrancais.jp
【関連企画】
アーティスト・イン・レジデンスプログラム イン パリ 2019/2020 宮坂直樹・山村祥子展
シテ・アンテルナショナル・デ・ザール内ヴィラ九条山スタジオにて滞在制作を行ったアーティストによる報告展。
日4月25日（土）、26日（日）、5月2日（土）、3日（日）12:00－18:00 場Super Studio Kitakagaya（大阪市住吉区） 料無料
●アーティストトーク
日5月2日（土）14:00－15:30 場Super Studio Kitakagaya（大阪市住吉区） 料無料 ※事前申込不要

第42期制作室使用者募集
若手芸術家の活発な創作活動を支援するため、造形及び舞台・音楽作品の制作を行う「制作室」（全12室）を提供します。
●使用期間：2020年10月1日（木）－2021年3月31日（水） ●条件：1申請につき使用期間は最大3ヶ月、制作した作品を京都芸術センター以外の場で発表する具体的な計画があることなど ●選考方法：専門家等で構成する委員会で審査を行います。審査結果に基づき、京都芸術センターで、使用する日時・制作室を調整します。 ●応募方法：京都芸術センターウェブサイト（www.kac.or.jp/program/21908/）の募集要項をよく読み、応募書類をメールにて提出してください ●締切：3月31日（火）23:59まで 問京都芸術センター制作室担当 E-mail：studio@kac.or.jp

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2020 事務局インターンシップ募集
京都発の国際舞台芸術祭「KYOTO EXPERIMENT」の運営事務局でのインターンシップを募集します。
※芸術祭開催期間：2020年10月10日－11月3日
●研修期間：2020年6月中旬－12月中旬 ●研修コース：A.事務局運営コース B.舞台技術コース C.広報宣伝コース ●応募方法：公式ウェブサイト（https://kyoto-ex.jp）をご確認の上ご応募ください ●締切：5月7日（木）〔必着〕 問KYOTO EXPERIMENT事務局 TEL：075-213-5839（受付時間：平日11:00－17:00） E-mail：info@kyoto-ex.jp
[事前説明会]
日4月21日（火）17:30－18:30 場KYOTO EXPERIMENT 事務局（中京区）
●申込：公式ウェブサイト内の申込フォームからお申込ください

伝統芸能文化創生プロジェクト「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」
伝統芸能文化（古典芸能、民俗芸能、およびそれらに係る楽器・用具用品、材料や伝統工芸技術等）において支援を必要とするプログラムを公募。採択された取り組みを、伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィスと共同で実施します。
●募集する事業：①伝統芸能文化の保存、継承、普及、活用のために必要な取組 ②継承に関して緊急性・必要性が高く、関係機関の協力が必要な取組
●締切：5月29日（金）17時〔必着〕 ●説明会：4月29日（水・祝）14:00－ ※詳細は募集案内又はウェブサイト（www.traditional-arts.org）をご確認ください。説明会については左イベント欄をご覧ください。 問伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス（京都市、京都芸術センター） TEL：075-255-9600 E-mail：taro@kac.or.jp

アーティスト・イン・レジデンスプログラム2021 ビジュアル・アーツ部門募集
●滞在期間：2021年4月1日（木）－2022年3月31日（木）（3ヶ月以内） ●支援内容：滞在期間中（3ヶ月以内）の宿泊場所、制作場所、居住地から関西国際空港または大阪国際空港までの往復航空券の提供、制作費として1件につき（個人・グループ問わず）10万円（内税）の補助、広報協力、アートコーディネーターによるサポート ●応募受付期間：4月1日（水）－6月30日（火）〔必着〕

勝冶真美（プログラムディレクター）

2012年のアーティスト・イン・レジデンスプログラムでアメリカからオリバー・ヘリングさんを招聘しました。京都のいろんな場所でゲリラ的にパフォーマンスをする様子を映像作品にしたのですが、撮影に協力してくれた大学生が、丹波橋駅の構内でパフォーマンスをする直前、「やる前から恥ずかしい…(I'm already shy…)」と赤い顔でつぶやいたのが忘れられません。思わぬことができちゃうアートのパワー?を感じました。もちろんその後、ばっちりパフォーマンスしてくれました！ あの子は学校の先生になったらしい。

水野慎子（アートコーディネーター）

500人（2020年3月現在登録者数）ものボランティアスタッフのパワーがとにかくすごい。発信されるメッセージはセンターのスタッフに限らず、アーティストに対しても直球です。初めはドキドキ、今はドギマギしています。NOボランティアスタッフ、NO京都芸術センター。これからもよろしくお願いします！

山本麻友美（チーフプログラムディレクター）

「色気」と「もの派」について忘れられないこと。ひとつは新内節の鶴賀若狭掾師にお茶をお出しした時の私の所作について、師が「お茶は肩から出すんや」と。腕だけで差し出しても色気が足りないとのご指摘。もうひとつは、リサーチで訪れた釜山で李禹煥師の食事会に陪席させていただいた折に、向かいの席の高階秀爾先生から私たちにむけられた「で、李さんはもの派なの?」というご質問。絶句＆冷や汗・・・

鬣恒太郎（アーティスト・テクニカルスタッフ）

怪談趣味。ここにはお化けが出るらしい。暗くなった館内はとても一人で歩ける様な雰囲気ではない。床が軋み、どこからともなくコツコツと足音が・・天井からは水が滴り・・窓からはヒュウヒュウと風が・・

奥村麻衣子（アートコーディネーター）

初めて担当した事業が「建築」でした。日独仏の建築家から出てきた図面をまとめ、具現化してくださったdot architectsの皆さま。真夏のグラウンドで朝9時から夜9時まで設営作業をしてくださった、何だかお洒落感漂うDept.の大工さん。一生頭が上がりません。次はもうちょっと涼しい時期にやりたいな…またセンターに来てくれますか?

加藤雅俊（アートコーディネーター）

アートコーディネーターになって1年。基本的にはデスクワークだが、様々な経験ができる。アーティストの付き添いで京丹後の海に入る、通訳、お弁当の発注、ギャラリーの清掃など。「あー」と「へー」が連続の毎日の中、実感するのはアーティストの制作の影響の大きさ。制作は繊細で時間を必要とする。最初は小さい振動が大地震に変わり、それに巻き込まれ翻弄される喜ばしい感覚。

十河陽平（テクニカルスタッフ）

年間を通してあらゆる領域の事業が行われ、ここで作られたものたちが世界に認知されていく。沢山の「可能性」を作っている施設だと思っています。関われている自分はとても幸せですし、これから関わる方達の将来のプラスになれるようにありたいです。

萩原麗子（プログラムディレクター）

完成していない作品も、たくさんあります。
舞台後の打ち上げではいつも、もう少しやれることがあったんじゃないか、この後作品をどうしていけるのか等を思いつつ。きっとここがある限りこの悶々とした感じはなくならないんだろうなと思いつつ（期待しつつ）。
数々の多様な無茶ぶりにつきあってくださるアーティスト、テクニカルスタッフ、関係者の皆さまには、「ごめんなさい」とともに感謝しかありません。

當間芽（アートコーディネーター）

4月5日まで作品を展示中のタオ・フイは、とても柔和ですてきなアーティストでした。帰国も間近となったある晩に、皆でおいしいものでも食べようと、京都で気に入った食べ物は何か尋ねました。「セブンで売っているカニがおいしくて何度も食べた。中国ではカニはもっと高くて、安いものはカニに似せたフェイクだから」。…残念ながらセブンのそれはカニカマ…フェイクだと思う。甘酸っぱい夏の思い出です。

遠山きなり（アートコーディネーター）

台本の初稿を読む時、第2稿、3稿と変化していくのを読む時、作品のまだ柔らかい部分にふれているようで、この上なく幸せな気持ちになります。また、昨年ここで初演した作品がツアーを経て一変しているのを見て、その可能性のひろがりに改めて驚きました。

箕浦慧（アートコーディネーター）

巨大な彫刻作品をつくるArne QuinzeやDamien Hirstが、最近はお花の絵を描いているようで、たいへん興味深いです。京都芸術センターの校庭にある一本の桜も、もうすぐ花をつけますよ。

槇田盤（京都芸術センター通信編集長）

前史を含めて、たくさんの人の顔や口調が思い出される。作品や演奏の印象がバラバラなのがおもしろい。自分が孤独であると同時に、古今東西につながってて、なんでもできそうに思える。ここが「世界文化自由都市」なのだ。

中村亮太（京都芸術センター通信デザイナー）

京都芸術センターを訪ねる時は、情報コーナーに寄って気になるチラシを大量に持って帰るのがルーティンでした。街の喧騒から離れた静かな教室に佇むと、まるでタイムスリップしたかのようで時間を忘れられるのです。これからも足繁く通います。

We Age! KYOTO ART CENTER 2020th ANNIVERSARY 京都芸術センター Since 2000

京都芸術センターは、
2020年4月に開設20周年を迎えます。

テーマは“We Age”
（ウィー・エイジ）

20 YEARS ANNIVERSARY KYOTO ART CENTER Since 2000

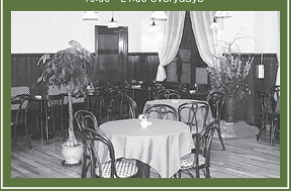
（ロゴデザイン：松本久木）

各イベントの詳細・最新情報はウェブサイトでご確認いただけます。

公式ウェブサイト | http://www.kac.or.jp

kyotoartcenter　@Kyoto_artcenter

Since 1971 MAEDA'S COFFEE
KYOTO ART CENTER 1F
MUROMACHI, TAKOYAKUSHI
NAKAGYOKU, KYOTO
TEL.075-221-2224
10:00～21:30 everydays



京都芸術センター叢書 二
「伝統芸能ことはじめ」
小林昌廣 著　定価3,456円（税込）
京都芸術センター窓口、もしくは
下記ウェブサイトよりご注文いただけます。
http://www.kac.or.jp/shop/

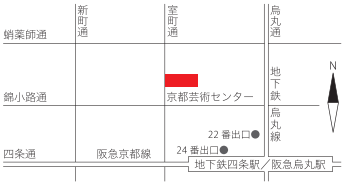
京都芸術センター KYOTO ART CENTER

交通案内
- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅／阪急京都線「烏丸」駅 22番出口・24番出口より徒歩5分。
- 市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間

●ギャラリー・図書室・情報コーナー・チケット窓口	10:00－20:00
●カフェ	10:00－21:30
●制作室、事務室	10:00－22:00

休館日　12月28日から1月4日
※設備点検のため臨時休館することがあります



〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
TEL：075-213-1000　FAX：075-213-1004
E-mail：info@kac.or.jp

指定管理者：公益財団法人京都市芸術文化協会